

令和5年度の支援活動

■四国社会資本アーカイブスの取り組みが、 土木学会 建設マネジメント委員会「グッド・プラクティス賞」を受賞

当会では、社会資本の整備が国や地域の発展に貢献してきたことを広く伝えることを目的に四国各地で行われた社会資本整備に関する情報を収集・整理してインターネットを通じて情報提供してまいりました。

この取り組みが土木学会建設マネジメント委員会より、建設マネジメントの実務において、創意工夫に富み建設マネジメントの発展に貢献が認められる意欲的な取り組みとして表彰されました。



▲グッド・プラクティス賞 授賞式



▲表彰盾

■四国の14市町村から水防協力団体に指定

「水防協力団体」とは水防法に規定する水防協力団体制度に基づき、水防管理者である市町村長が水防団の行う水防活動を支援・サポートする企業などを指定するもので、平成17年度から制度化されています。

当会では、防災事業への新たな取り組みとして水防協力団体に応募し、14の市町村から指定を受けました。

今後の活動としては、平常時は消防団等の水防訓練への協力や消防団員のポスター掲示、災害時は資材の提供などを予定しています。



▲いの町水防協力団体認定書交付式



▲南国市水防協力団体指定書交付式



▲幡多6市町村水防協力団体認定書授与式



▲愛南町水防協力団体認定証交付式

■日本の近代化に大きく貢献した四国出身の土木技術者の業績を辿る番組を制作

当会と日本建設業連合会、建設コンサルタンツ協会は、日本の近代化に大きく貢献した四国出身の土木技術者の業績を辿る番組「道なき土木の道づくり」を制作し、11月18日の「土木の日」にKSB瀬戸内海放送にて放映しました。

また、四国建設広報協議会が主催する「建設フェア四国2023 in高松」において放送時間に合わせて会場ステージでも上映したほか、現在はYouTubeでも公開しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=CAATCCIzHJ4>



■「道の駅」に防災備品を支援

当会では、南海トラフ巨大地震と、それに伴う大津波の発生が予想される四国の状況を踏まえ、道の駅の防災機能向上のため、四国管内の道の駅に防災倉庫、防災用品を寄贈する活動を平成28年度から実施しています。令和5年度は、6駅(延べ54駅)に寄贈いたしました。



▲贈呈式 道の駅「小豆島ふるさと村」(小豆島町)



▲贈呈式 道の駅「大坂城残石記念公園」(土庄町)



▲贈呈式 道の駅「美良布」(香美市)



▲贈呈式 道の駅「小田の郷 せせらぎ」(内子町)



▲贈呈式 道の駅「風早の郷 風和里」(松山市)



▲贈呈式 道の駅「よしうみいきいき館」(株式会社しまなみ：今治市)